

◆玉川大学天文台で観測できる主な「真昼の星」と見ごろ(6~8月)

おすすめ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
△ レグルス(しし座)				←								
スピカ(おとめ座)						←						
アークトゥルス(うしかい座)						←						
アンタレス(さそり座)									←			
ベガ(こと座)								←				
アルタイル(わし座)									←			
デネブ(はくちょう座)		→							←			
フォーマルハウト(みなみのうお座)												←
◎ カペラ(ぎょしゃ座)		←			→							
△ アルデbaran(おうし座)		←			→							
○ カストル(ふたご座)			←		→							
○ ポルックス(ふたご座)			←		→							
○ プロキオン(こいぬ座)				←	→							
△ リゲル(オリオン座)			←		→							
△ ベテルギウス(オリオン座)			←		→							
△ シリウス(おおいぬ座)			←		→							



**観察ノート**

冬の大三角形を構成する一等星、ベテルギウス( $\alpha$ Ori)、シリウス( $\alpha$ CMa)、プロキオン( $\alpha$ CMi)を観察してみましょう(7月まで)。  
カペラ( $\alpha$ Aur)とレグルス( $\alpha$ Leo)の色の違いを観察してみましょう(8月)。